

# 世界各地の自然の中に身を置いて挑む 多彩な“科学の冒険”を子どもたちに。

トマ・エグリ氏（国際NGO「オブジェクティブ・サイエンス・インターナショナル」代表）

ヨーロッパではヴァカンス・シーズンに子どもたちの各種キャンプが盛んです。その一つである科学キャンプの企画運営を二〇年にわたって実践してきたOSIは、科学教育によって子どもたちの好奇心・探求心・自立心を育て、未来へとつながる持続可能な発展を目指している国際NGO。国際連合経済社会理事会の特別代表として、多彩な研究プロジェクトに基づいた、小学生から高校生の子どもたちに向けた高いレベルの科学キャンプを世界各地で開催しています。例えば、夏休みに開催の科学キャンプは七〜八月に一週間または二週間、フランスの南アルプスやピレネー、キルギス共和国、アイスランドのレイキヤビクなどの自然の中で、仏語、英語、日本語を話すインストラクターが同行し、実施されます。

子どもたちは毎日、朝から夜まで思いきり体を動かしながら大自然を満喫。チームで協力して各自の研究テーマに取り組み、自分で考え、答えを探し、科学の楽しさや面白さを体感します。一方、生態学、動物行動学、地質学、気象学などの科学者でもあるインストラクターから学際的な環境でのサポートを受けることも可能。過剰な干渉をせず、子どもたちの試行錯誤を見守っているインストラクターのいざという時の貴重なヒントが、自発的な学びを促し、科学への興味を育てます。

一九九二年から毎年八〇〇人近い子どもたちを科学キャンプに受け入れてきたOSIは、これからも、教室を離れ、自然の中で体験する科学プログラムによって、子どもたちの豊かな成長に貢献していきたいと考えています。

Thomas EGLI 1974年スイス生れ。17歳の時に知人の運営する科学キャンプでインストラクターを経験したことをきっかけに、92年NPO「オブジェクティブ・サイエンス」設立。現在、国際NGO「オブジェクティブ・サイエンス・インターナショナル(OSI)」代表を務める。スイス・ジュネーブに本部、カナダに北米センター、タヒチに太平洋センターを置くOSIは、国際連合経済社会理事会の特別代表を務め、子どものための科学キャンプなどのアクティビティを企画運営している。  
OSI・科学キャンプ  
<http://www.science-vacances.com/>



アイスランドで地熱を研究、キルギス共和国でユキヒョウの生態を調査、ピレネー地方で熊との共存を考え、南アルプスで化石を探し……。小学生から高校生までの誰もが多彩なプログラムで科学を学ぶことができるキャンプは、ワールドワイドな林間学校。

